

# 平成18年度決算(案) 説明資料

平成19年5月30日  
明治安田生命保険相互会社

# 主要業績の概要

## (1)新契約

	平成18年度		平成17年度
		前年度比	
年換算保険料(個人保険・個人年金保険)	1,018億円	22.8%	829億円
うち第三分野	299億円	△2.1%	305億円
新契約件数(個人保険・個人年金保険)	103.8万件	0.1%	103.7万件
新契約高(個人保険・個人年金保険)	55,310億円	△14.4%	64,621億円

## (2)保有契約

	平成18年度末		平成17年度末
		前年度末比	
年換算保険料(個人保険・個人年金保険)	17,835億円	△3.0%	18,384億円
うち第三分野	3,394億円	0.4%	3,381億円
保有契約件数(個人保険・個人年金保険)	1,116.1万件	△2.8%	1,147.8万件
保有契約高	2,441,221億円	△6.4%	2,609,152億円
個人保険・個人年金保険	1,357,974億円	△6.6%	1,454,514億円
団体保険	1,083,247億円	△6.2%	1,154,637億円

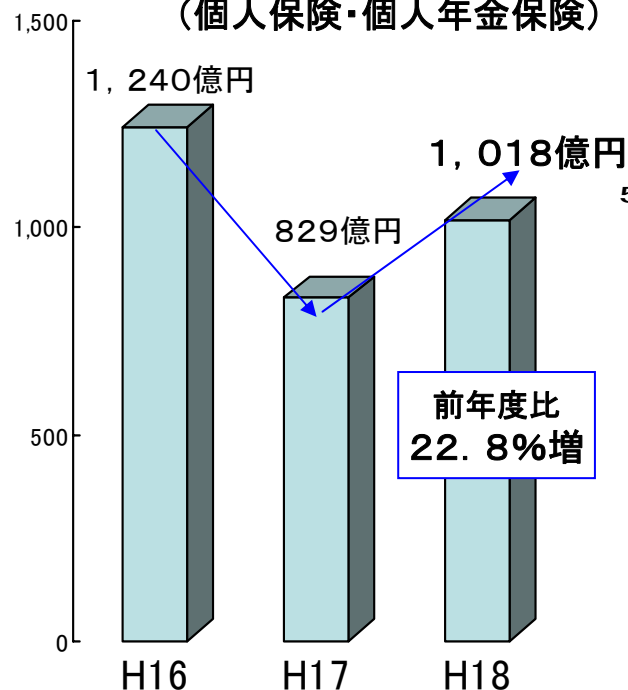
## (3)保険料等収入・保険金等支払金

	平成18年度		平成17年度
		前年度比	
保険料等収入	25,702億円	△3.9%	26,732億円
保険金等支払金	24,021億円	△13.6%	27,802億円
うち解約返戻金	5,466億円	△19.1%	6,761億円

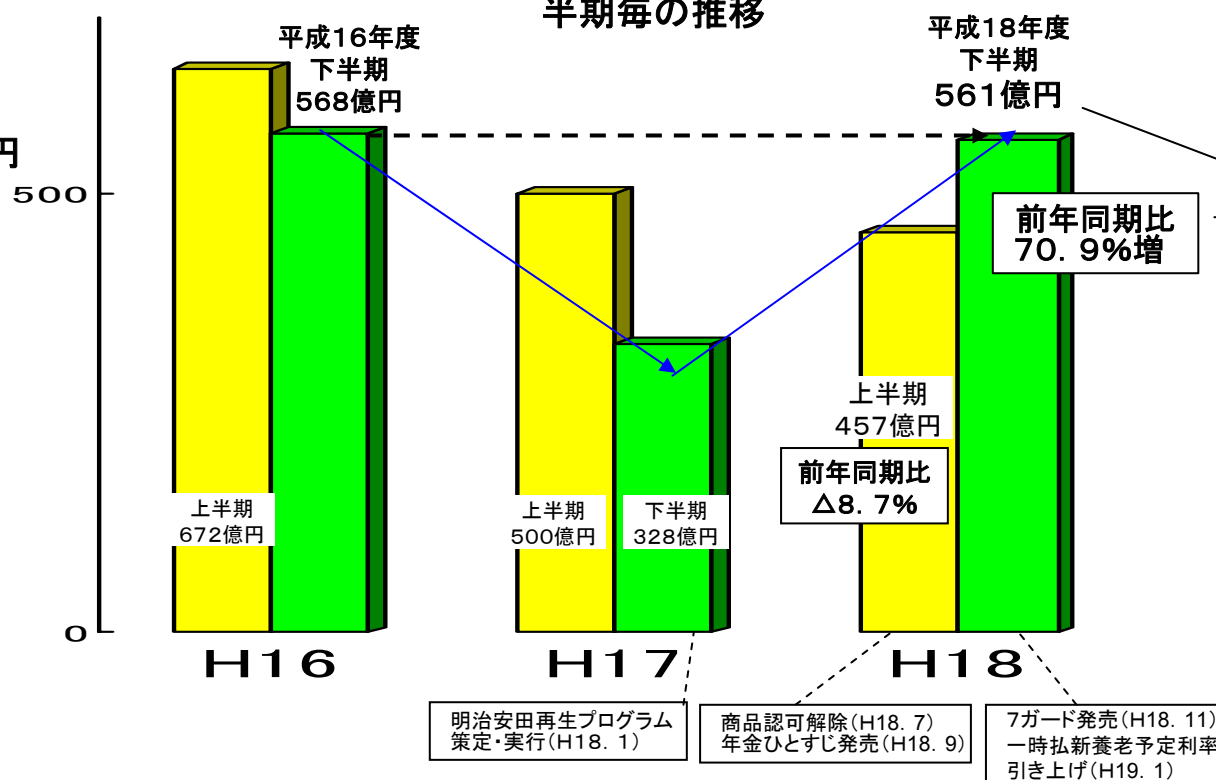
# 新契約業績のポイント

**新契約年換算保険料 1,018億円** (前年度比**22.8%増**)

新契約年換算保険料  
(個人保険・個人年金保険)



新契約年換算保険料  
半期毎の推移



**平成18年度下半期新契約業績は  
一昨年(平成16年度)の水準まで回復。業績が回復基調に！**

# クオリティ項目の概要

## (1) 明治安田再生プログラム以降の総合継続率(個人保険・個人年金保険)

	平成18年度		平成17年度
		前年度比	
4回目総合継続率	96.8%	3.7ポイント	93.1%
7回目総合継続率	92.1%	6.7ポイント	85.4%

(注)1. 総合継続率は、社内業績数値の契約高ベースにて算出しております。

2. 各回次の対象契約は、4回目が平成17年11月～平成18年10月、7回目が平成17年8月～平成18年7月募集分がベースとなっております。

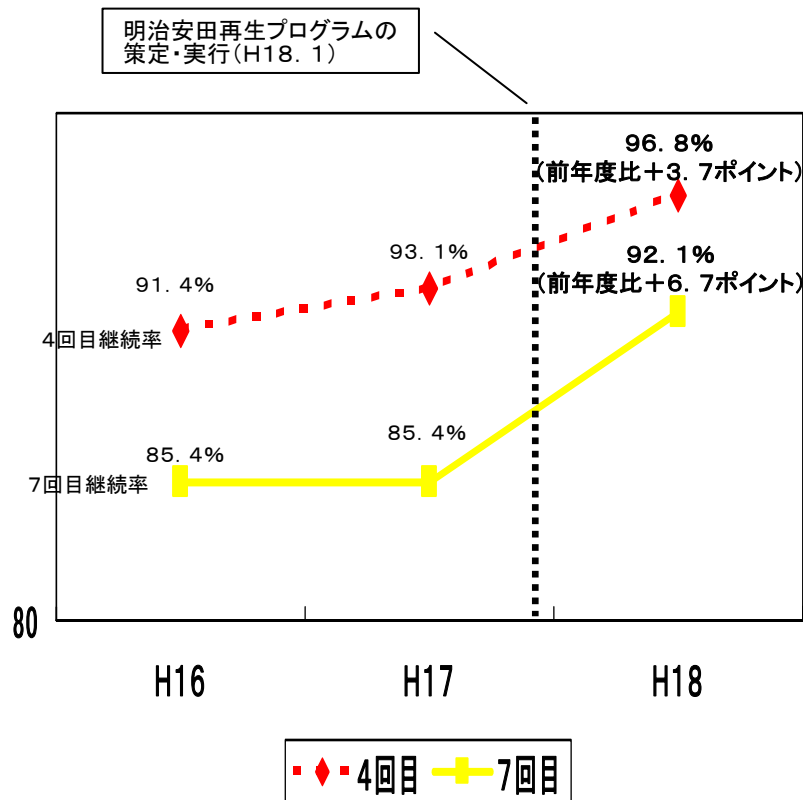
## (2) 解約・失効の状況(個人保険・個人年金保険)

	平成18年度		平成17年度
		前年度比	
解約・失効年換算保険料	1,016億円	△25.7%	1,368億円
解約・失効高	105,109億円	△29.8%	149,717億円
解約・失効率	7.23%	△2.17ポイント	9.39%

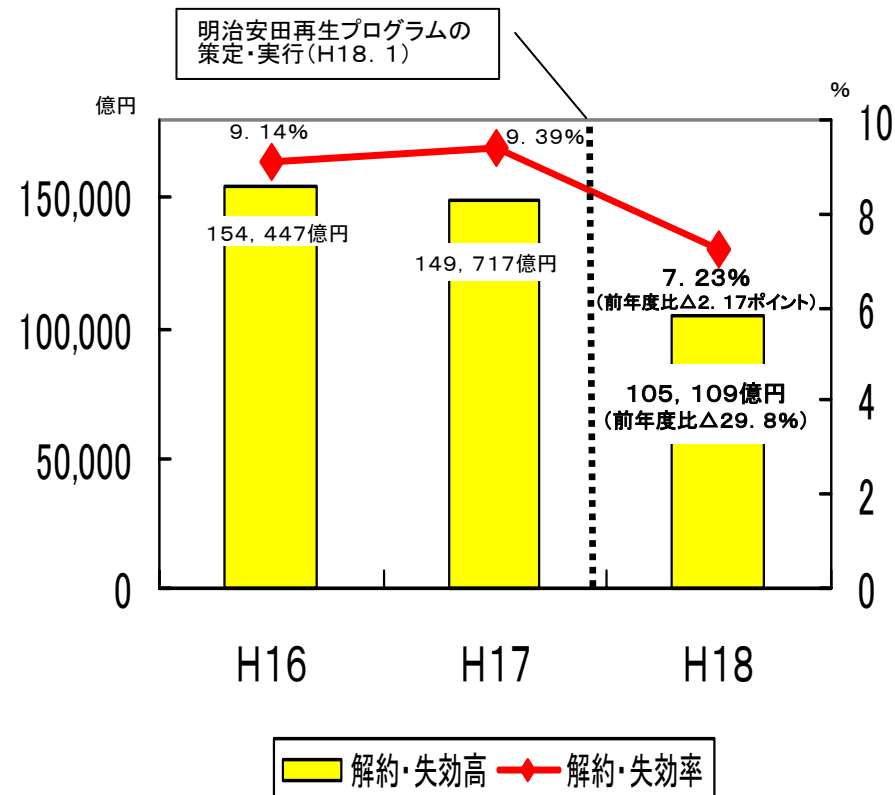
# クオリティ項目の年度別推移

明治安田再生プログラムにもとづく、コンサルティング・アフターサービスをより重視する営業への変革により、  
**継続率、解約・失効状況が大幅に改善！**

## 総合継続率の推移



## 解約・失効高、解約・失効率の推移



# 健全性に関する指標①

基礎利益4,582億円と引き続き安定的な収益力を堅持  
一般勘定資産に対する比率も1.77%と業界トップレベルの水準

	平成18年度		平成17年度
		前年度比	
基礎利益	4,582億円	△2.1%	4,681億円
費差	1,362億円	△23.6%	1,783億円
危険差	4,054億円	2.2%	3,967億円
逆ざや	△833億円	—	△1,069億円
平均予定利率	2.95%	0.01ポイント	2.94%
基礎利益上の運用収支等の利回り	2.53%	0.12ポイント	2.41%

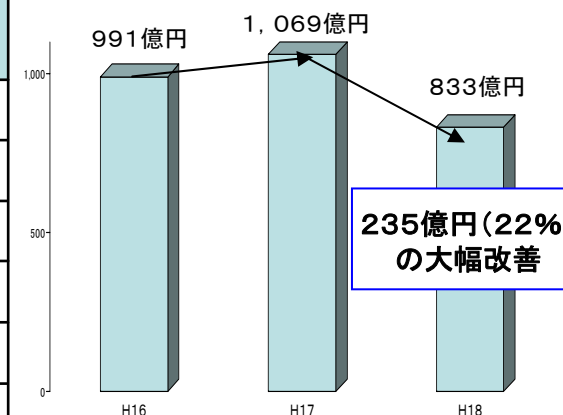
(注)平均予定利率、基礎利益上の運用収支等の利回りについては、前年度差を表示しています。

## 内部留保等

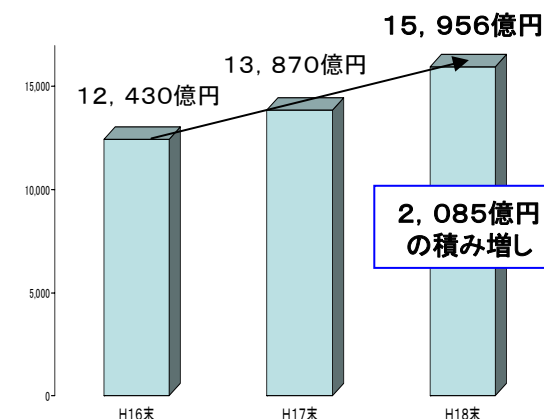
	平成18年度末		平成17年度末
		前年度末差	
内部留保等	15,956億円	2,085億円	13,870億円
うち基金・基金償却積立金 <sup>(注)</sup>	4,100億円	600億円	3,500億円
うち基金償却準備金 <sup>(注)</sup>	150億円	△250億円	400億円
うち価格変動積立金 <sup>(注)</sup>	152億円	—	152億円
うち危険準備金	9,095億円	1,680億円	7,414億円
うち価格変動準備金	2,023億円	66億円	1,956億円

(注)基金償却後、剰余金処分後の数値

### 逆ざやの推移



### 内部留保等の推移



明治安田生命保険相互会社

# 平成18年度決算(案)に基づく社員配当の状況

## ～社員配当の概要～

### <剰余金処分量のうち社員配当準備金繰入額>

○平成18年度は1,772億円と平成17年度に比べ14%増

	平成18年度		平成17年度
		前年度差	
社員配当準備金繰入額	1,772億円	218億円	1,553億円

### <個人保険・個人年金保険>

- 最近の運用環境の改善、危険差益の発生状況等を勘案し、配当を一部引き上げ
- 毎年配当タイプについては、3年連続の増配を実施
- 5(3)年ごと利差配当タイプ商品については、利差配当を一部引き上げ
- さらに、5(3)年ごと利差配当タイプ商品については、危険差益等の状況、内部留保とのバランスを勘案し、剰余の貢献度の高い契約に対して配当を行なう保険料比例の特別配当(ハートフル配当)を新設

### <団体年金>

- 団体年金資産の状況等を勘案し、平成16年度の復配、平成17年度の増配に続き、3年連続の増配を実施

## 健全性に関する指標②

	平成18年度末		平成17年度末
		前年度末差	
ソルベンシー・マージン比率	1,354.9%	175.0 <sup>ポイント</sup>	1,179.9%
実質純資産額	57,686億円	8,819億円	48,866億円
一般勘定資産に対する比率	22.2%	3.1 <sup>ポイント</sup>	19.1%
リスク管理債権額	456億円	83億円	373億円
貸付残高に対する比率	0.71%	0.17 <sup>ポイント</sup>	0.54%

### 一般勘定資産全体の含み損益

	平成18年度末		平成17年度末
		前年度末差	
一般勘定資産全体の含み損益	37,584億円	6,901億円	30,682億円
うち有価証券(注1、2)	33,293億円	4,756億円	28,537億円
うち土地(注3)	4,356億円	2,157億円	2,198億円

(注) 1. 時価のある有価証券に加え、時価のない有価証券（外貨建の子会社株式及び関連会社株式等）を為替評価した場合の含み損益相当額を記載しています。

2. 買入金銭債権等を含めています。

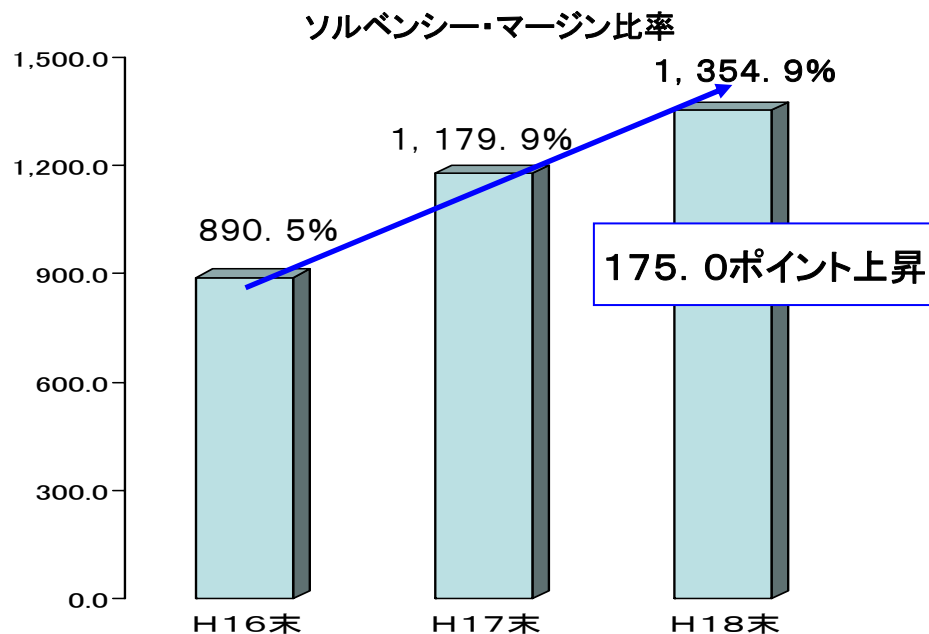
3. 平成11年度末（明治生命）および平成12年度末（安田生命）に実施した土地の再評価による「再評価差額」を含めています。また、借地権を含めています。



# 健全性指標のポイント

## ソルベンシー・マージン比率

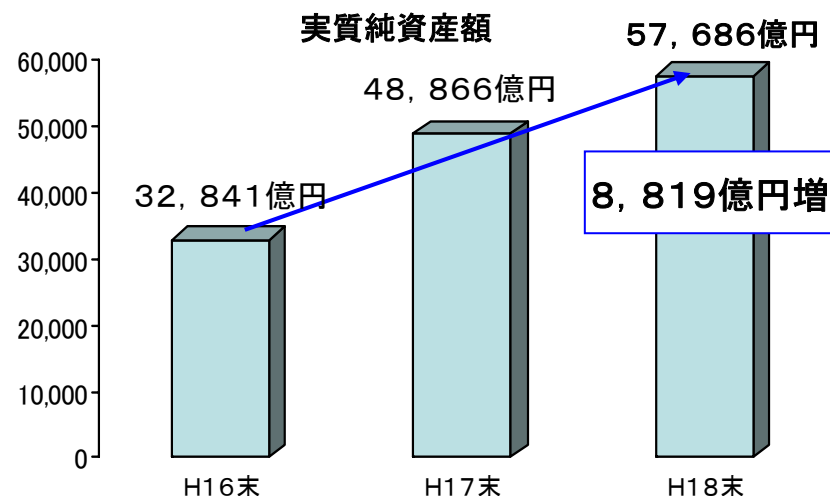
危険準備金の積み増し(+1,680億円)、  
有価証券の含み益の増加等で  
前年度末比**175.0ポイント上昇**



## 実質純資産額

実質純資産額  
**5兆7,686億円**  
一般勘定資産に対する比率は  
**22.2%**(前年度末比**3.1ポイント上昇**)

	平成16年度末	平成17年度末	平成18年度末
一般勘定資産	244,839億円	256,111億円	259,632億円
一般勘定資産 に対する比率	13.4%	19.1%	22.2%



## 含み損益

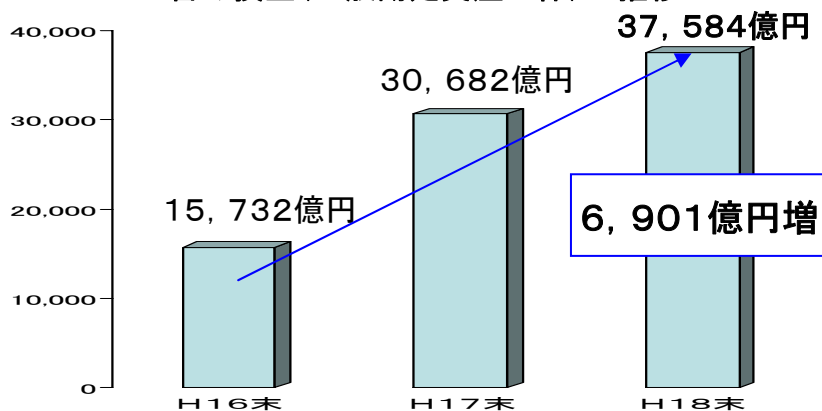
**3兆7,584億円(一般勘定資産全体)**  
**うち有価証券3兆3,293億円**  
**主要な資産すべてにおいて**  
**含み益を確保**

主要な資産の含み損益

公社債	486億円
株式	28,175億円
外国公社債	1,234億円
外国株式等	3,300億円
土地 <sup>(注)</sup>	4,356億円

(注) 土地には借地権を含めています。

含み損益(一般勘定資産全体)の推移



## 国内株式含み損益ゼロ水準

### 国内株式含み損益ゼロ水準の推移

	平成18年度末	平成17年度末
TOPIXベース	700ポイント程度	710ポイント程度
日経平均 株価ベース	7,000円程度	7,000円程度

(注) 1. 株価指数と当社ポートフォリオの過去の連動性を用いて算出。  
 2. 仮に当社ポートフォリオがTOPIXおよび日経平均株価にフル連動する  
 とした場合は、TOPIX750ポイント程度、日経平均7,500円程度。